

市民の笑顔をおとどけます

2 / 9

生き方を学ぼう



濃南中学校で、「生き方教室」が行われ、3年生20人と1・2年生22人がそれぞれ外部講師の講話を聴きました。

1・2年生は、岐阜県肢体不自由児者父母の会の中島さんから「障がい」について考える話を真剣に聴講。3年生は、中部国際自動車大学の齋木さんから自動車整備の工具を見せながら話を聞き、進路選択を意識しながら仕事への熱意や大変さを学びました。



1. 自動車整備に使う工具を見ながら話を聴く生徒ら
2. 実際に車椅子を使い、気遣いの仕方などを学ぶ

2 / 19

～コロナ禍でもつながれる～ 「オンラインほやねさん」

「ほやねさん」とは、そつと寄り添って「ほやねほやね。」と話を聞いてくれる人。子育て中の方たちがホッと一息つける場所を提供するために「ほやねさん」たちが始めた「ほやねカフェ」。緊急事態宣言を受けて12月から開催中止を余儀なくされていました。

この日は、子育ての悩み「寝ない、食べない、飲まない」をテーマに語り合い、参加したママたちは、それぞれの体験談に「ほやね、ほやね」と共感し合い、オンラインでつながったみんなが「ほやねさん」になっていました。

途中、手遊びなどで親子で楽しみ、ホッと一息つけるすてきな時間を共有しました。



- 1.2. オンラインで手遊びを楽しむ、参加者

2 / 26

美濃陶磁歴史館 企画展「現代茶陶展の歩み」

美濃陶磁歴史館で企画展「現代茶陶展のあゆみ」の前公開が報道関係者を招いて開催されました。

過去13回開催された「現代茶陶展」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、第14回目の開催が延期となりました。そこで、今回の企画展は、第14回の開催を待つ中、歴代の大賞作品を中心にこれまでのあゆみを振り返るとともに、現代の茶陶を再考する機会として開催されました。

会場には、志野や織部を産

したこの地の歴史と伝統を礎にし、現代の茶の湯のために作り出された器の数々が展示されています。

この企画展は6月20日(日)まで開催されていますので、茶の湯に興味のある方、そうでない方も一度訪れてみてはいかがでしょうか。

美濃陶磁歴史館
休館日 月曜日・祝日の翌日
入館料 一般 200円
大学生 100円
高校生以下 無料



1. 開催にあたり見学をする市長ら
2. 第1回の現代茶陶展で大賞を受賞した作品

2 / 28

土岐で科学を学ぶ日 オンライン開催

先端科学の研究拠点が市内にあることを活かして、子どもも大人も科学に親しんでもらおうと科学イベント「土岐で科学を学ぶ日」が行われました。

市内にある科学研究施設は、「自然科学研究機構核融合科学研究所」、「日本原子力研究開発機構東濃地科学センター土岐地球年代学研究所」で、昨年4月に自然科学研究機構と市が結んだ連携協定によって、国立天文台など他県の研究所からも教育支援を受けられる

ようになりました。新型コロナウイルス感染症の影響で今回は科学講座などをオンラインで配信する形式で開催され、多くの方にアクセスいただきました。

午前10時30分からライブ配信された国立天文台の縣先生による「土岐市から宇宙へ出発」の講義では、天文ソフト「Mirax」の映像を見ながら宇宙の神秘が解説され、画面上には視聴者からのコメントも多く寄せられました。



1. この日、配信された動画のシーンの一部
2. 家庭で配信されている動画を楽しむ様子